

II 短期大学部本科、同専攻科

1. 教養教育

玉木 興正（教授2000. 4 - 2001. 3）

南 晃（教授2000. 4 - 2001. 3）

丸山 義博（助教授〔一般教育等〕2001. 4 - 2002. 3、助教授〔教養教育〕2002. 4 - 2007. 3、准教授〔教養教育〕2007. 4 - 2009. 3、准教授〔工学部教養教育〕2009. 4 -）

渡部 友子（講師〔一般教育等〕2001. 4 - 2002. 3、講師〔教養教育〕2002. 4 - 2004. 3、助教授〔教養教育〕2004. 4 - 2007. 3、准教授〔教養教育〕2007. 4 - 2008. 3）

須田 孝司（准教授〔教養教育〕2008. 10 - 2009. 3、准教授〔工学部教養教育〕2009. 4 -）

玉木の研究分野は体育心理学で、富山県内の児童・生徒の体力を毎年測定し、年次変化や全国平均との差異を検討するなど、児童・生徒の体力増強について研究した。また、環境保護教育、ゆとり、生きる力、感性等の育成に生涯スポーツ（野外活動）の普及の必要性を強く感じ、学校教育、地域活動に期待するものが多いことから、それらの大会や講習会を通して野外活動の普及に努めた。

南の研究分野は統語論、意味論、語用論、言語心理学等の知見を踏まえて、英語の運用能力、とりわけ柔軟な読解の方略を学習者に獲得させるための条件を理論的、実践的に解明し、指導法の改善に役立てることを目指した。

またアカデミック・ライティングの実践例の解析を通して、日本人がおかす誤りや、英語としての不自然さの一般的傾向、それらに母語の影響がどのように投影されているかを調べ、それらを防止するための留意事項を考究した。

渡部の研究内容は、単文レベルを越えたディスコースでの文法の使われ方や機能について、日本語と英語の違いを解明する。リスニングを基盤にして4技能の統合を図り、英語運用能力を伸ばす教育を実践する。小学校などで行われる英語入門教育のあり方やその効果を研究する。

丸山、須田については、工学部教養教育へ記載。

2. 生物資源学科

(1) 改組前 農業技術学科 生物専攻

折谷 隆志（教授2000. 4 - 2001. 3）

竹内 敬俊（助手2000. 4 - 2001. 3）

折谷の研究分野は作物の生育と環境の関係を理解するために、とくに作物の窒素代謝の特性を明らかにすると共に、植物の生長調節物質である「サイトカイニン」と「アブサイシン酸」に注目して研究を進めた。また、水稻品種について、良食味と高蛋白価を実現するために、高リジン系統の選抜育成を進めてきた。北アルプス連峰における土壌保全を目

的に、土壌の特質と共に植生を調査し、「緑化」に有効な植物ならびに土壌浸食の防止に必要な緑化工法の確立に努めた。

竹内の研究分野は農用ディゼルエンジンに、使用済み食用油と軽油を一定の割合で混合して燃料として供給し、運転性能に大きな違いがないことを確認した。しかし、植物油に含まれる特有のリノレン酸等が潤滑油の酸化や硬化に作用するので、その除去が必要である。さらに、水稲の省力栽培について検討しており、乳苗育苗による苗作りの省力化、資材費の節減や乾田不耕起直播栽培等による省力稲作技術を確立しようとしていた。

小林哲郎、田中陽光、下坪訓次、行枝 亮、鈴木俊彦、葭田隆治、佐藤幸生、遠藤安昭、林 節男については、生物資源学科へ記載。

(2) 改組後 生物資源学科 2003年から生物資源学科

小林 哲郎（教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授2003. 4 - 2004. 3）

田中 陽光（教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授2003. 4 - 2005. 3）

下坪 訓次（教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授2003. 4 - 2009. 3）

葭田 隆治（助教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2004. 3、教授2004. 4 - 2009. 3）

行枝 亮（助教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2009. 3）

鈴木 俊彦（助教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2006. 3、〔工学部教養教育〕助教授2006. 4 - 2007. 3、〔工学部教養教育〕准教授2007. 4 - ）

佐藤 幸生（助教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2006. 3、〔工学部教養教育〕助教授2006. 4 - 2007. 3、〔工学部教養教育〕教授2007. 4 - ）

遠藤 安昭（講師〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、講師2000. 4 - 2006. 3）

小林の研究分野は農業・農村、農業経済、食料の経済学的研究を中心テーマとし、①水田の高度利用に基づく水田農業の複合化と活性化、②集团的土地利用による低コスト営農と活力ある農村社会の構築、③中山間地農業の振興方策等の領域で、診断調査や計画策定等の支援と実証的研究を行った。

田中の研究分野は抗酸化物質ポリフェノール類の一種で、強力な抗酸化能を持つプロアントシアニジンの不斉合成と、構造と抗酸化能との関連を明らかにする研究を、動的速度論分割法等により行った。また、上水道中のカビ臭問題について原因物質の微生物分解に関して、効率的分解菌の単離、分解経路の解明を主な目標として研究をした。

下坪の研究分野は湛水直播装置と施肥播種装置の開発研究の他、省力低コスト稲作技術の開発に関する研究として、ショットガン方式の播種装置搭載による作業の高速化及び高精度化に関する研究を行うとともに、新たな播種様式の安定化に向けた基盤研究を展開した。

葭田の研究分野は生物資源学、植物生長制御学を研究分野とし、光合成細菌の変異株から5-ALAを多量に生産する方法を開発し、農業の生産現場における収量増大、品質改善ならびに耐塩性向上に如何なる効果をもつかについて解明を進めた。また、野菜の有害・

有益成分の改善に関する研究のほか、日本海深層水の農業への利用に関して研究した。

行枝の研究分野は結球性葉菜の選択収穫機の開発を目的として、画像処理によるレタス結球度の検出、および、気象に基づくレタス球頭の生育モデル作成の研究を行った。また、作物、植物の生育あるいは芸地の病害部の計測・診断を目的として、カラー画像処理による水稻葉色の診断、および、画像処理による芝草病害部の計測の研究を行った。

遠藤の研究分野は①アメリカシロヒトリの生態と防除法、②畑作物のキタネグサレセンチュウに対するマリーゴールド植え付け効果、③梅（稲積）の調査と梅加工品の製造、④「農業の担い手に関する実証的研究」、⑤挿し木繁殖について、樹種と発根促進剤の濃度との関係⑥植物の組織培養（野菜類、花卉類）、⑦大沢野農場における風の影響と栽培作物などを研究した。

鈴木、佐藤については、工学部教養教育へ、林については、環境システム工学科へ記載。

3. 環境システム工学科

(1) 改組前

① 農業技術学科 農業土木専攻

北條 弘生（教授2000. 4 - 2001. 3）

宮崎 平三（助教授2000. 4 - 2003. 3）

北條の研究分野はコンクリート工学であり、土木材料としてのコンクリートの物理化学性質について研究を行った。特に近年注目されているアルカリ骨材反応のメカニズムの解明、県内の実態、その防止対策について調査研究した。

宮崎の研究分野は農業動力学であり、農業機械エンジン油の劣化に関する研究、農業用水を用いた農産物貯蔵システムの開発、農業用水を利用した小水力発電システムの開発などの研究を行った。

広瀬慎一、荒井 涼、高橋剛一郎、瀧本裕士については、環境システム工学科へ記載。

② 環境工学科

吉岡 龍馬（教授2000. 4 - 2002. 3）

木沢 進（助教授2000. 4 - 2002. 3）

吉岡の研究分野は地下水学、無機地球化学であり、次の4テーマ、(i)不活性ガス、水素・酸素安定同位体比による地下水流動に関する研究、(ii)土壌中のCO₂ガスと地下水の水質の相互作用に関する研究、(iii)融雪水の高機能性に関する研究、(iv)富山湾における海洋化学的研究、について調査・研究を行った。

木沢の研究分野は水質学、水処理工学であり、「富山湾の環境科学的研究」（富山商船高専との共同研究）を行い、富山湾の海水の採水を行い、化学成分を中心とする分析を行った。また、短期大学部をISO14001のモデルケースとして、環境負荷の現状の調査（環境要素の抽出）および法的規制の洗い出しなどについて検討を行った。

安田郁子、楠井隆史、川上智規、能登勇二、奥川光治、立田真文、渡辺幸一、天野智順については、環境システム工学科へ記載。

(2) 改組後 環境システム工学科

- 広瀬 慎一（教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授2003. 4 - 2009. 3）
- 安田 郁子（教授〔環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授〔環境システム工学科〕2003. 4 -、教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 楠井 隆史（教授〔短期大学部環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、教授2003. 4 - 2010. 3、教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 川上 智規（助教授〔環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2006. 3、教授2006. 4 -、教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 九里 徳泰（教授2009. 4 -、教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 荒井 涼（助教授〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2009. 3）
- 能登 勇二（助教授〔環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2010. 3、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 奥川 光治（助教授〔環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 -、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 高橋剛一郎（助教授〔農業技術学科農業土木専攻〕1998. 4 - 2004. 3、2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 -、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 立田 真文（助教授〔環境工学科〕2002. 4 - 2004. 3、助教授2003. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2010. 3、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 渡辺 幸一（講師〔環境工学科〕2002. 4 - 2004. 3、講師2003. 4 - 2004. 3、助教授2004. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2010. 3、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 瀧本 裕士（講師〔農業技術学科〕2000. 4 - 2004. 3、講師2003. 4 - 2004. 3、助教授2004. 4 - 2007. 3、准教授2007. 4 - 2009. 3）
- 伊藤 始（准教授2009. 4 -、准教授〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 林 節男（講師〔生物資源学科〕2003. 4 - 2006. 3、講師2006. 4 -）
- 天野 智順（講師〔環境工学科〕2000. 4 - 2004. 3、講師2003. 4 - 2009. 3）
- 手計 太一（講師2009. 4 -、講師〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）
- 佐伯 孝（講師2009. 4 -、講師〔工学部環境工学科〕2009. 4 -）

広瀬の研究分野は農業水利学であり、主に高岡市玄手川で実施された近自然工法のモニタリングを総合的に行って、当該工法の効果を明らかにした。その他、学校ビオトープの計画実施上の問題点、休耕田を利用した地下水涵養手法の実施方法などを研究した。また技術者倫理の研究普及に努めた。

荒井の研究分野は地盤工学であり、北陸地域の丘陵地における地すべりの素因といわれる軟岩の軟弱化機構の解明を試みた。また2007年（平成19年）の能登半島地震では、地震動特性と現地地盤の被害状況を調査し、重複反射理論による地震動計算を複数の計算手段から試み、地盤種とゆれ特性などの検討を行った。

瀧本の研究分野は水文統計、農業水利学であり、富山県域を対象として、農地や農業用水が地域環境に与える役割・影響について検討を行った。特に、らせん水車を活用したマイクロ水力発電システムの開発、CVMによる都市型用水と農村型用水の機能評価などの

研究に取り組んだ。

林は緑地空間における環境論的な思考として、風土⇔人⇔食糧生産の3者の調和の取れた“農”の多面的役割の構築について、検討を行っている。その具体的な、展開として、「日本と東アジアの干柿生産における“農”の多面的役割」について検討し、さらに農地におけるアレルギー性花粉の観察から、生産者が働きやすい緑地環境の創出の検討を行っている。

天野の研究分野は環境計画であり、廃棄物の減量化施策についてごみ処理有料化の効果、廃瓦やコンクリート廃棄物の有効利用方法について研究を行った。また、リモートセンシングデータを用いた都市の土地被覆、熱環境の検討、気温測定による都市のヒートアイランド現象に関する研究を行った。

安田郁子、楠井隆史、川上智規、九里徳泰、能登勇二、奥川光治、高橋剛一郎、立田真文、渡辺幸一、伊藤 始、手計太一、佐伯 孝については、工学部環境工学科へ記載。